

みんなでゴミをへらそう！！

地球環境を守るため全国的にゴミを減らす取組が進む中、長野県はひとりが一日に出すごみの量が全国トップクラスの少なさです。

毎日生活する中でゴミを無くすことはできませんが、減らすことはできます。

ポイントは3つ。①食品ロス ②海洋プラスチック ③4R(ヨンアール)

① 食品ロス

みなさんが出している燃えるゴミの内訳の例をみてみましょう。

38パーセントが生ごみ、36パーセントが紙ごみ、16パーセントがプラスチック。

みなさんの家庭から出る燃えるゴミの約4割が生ごみという傾向が見られます。

この生ごみの中には、「野菜の皮むきなどで食べられる部分まで捨てられたもの」「食べ残し」「賞味期限が切れて手付かずの食品」などが含まれています。これらを「食品ロス」と言います。みなさんの身近なところに、『食品ロス』はないでしょうか。

② 海洋プラスチック

こんな場面は、見たことありますか。

私たちの身の周りにはあるたくさんのものがプラスチックでできています。このプラスチックがゴミとして海に流れてたものを「海洋プラスチックごみ」と言います。

この「海洋プラスチックごみ」は2050年には魚の量よりも多くなると言われています。生活の中で必要のないプラスチックを減らしたり、捨てる量を減らすなど、できることから始めましょう。

③ 4R (ヨンアール)

長野県は4つのRでゴミを減らす取組をしています。1つ目は「使う資源やごみの発生を減らすこと」、2つ目は「捨てないで繰り返し使うこと」3つ目は「資源に戻して形を変えてもう一度使うこと」。4つ目は「環境にやさしい素材や製品に置き換えること」。ゴミを減らすために一番大事なことは、1つ目の「ごみの発生をもとから減らすこと。しかし、どうしてもゴミになってしまうことがあります。そういう時に、「もう一度使えないかな？」と考えるのが、「リユース」。このままでは使えなくても、もう一度形を変えて活用することが「リサイクル」。きちんと分別してゴミを捨てることでリサイクルが進みます。そして、プラスチック製品などから植物由来や再生利用可能な素材や製品に置き換えることが「リプレイス」。

長野県では、さまざまな取り組みを積極的に行っています。

詳しくは、長野県のホームページ「信州ごみげんねっと」をご覧ください。